

- ・ WCC機関名 (WCC No) : **国立国際医療研究センター(NCGM)
AMR臨床リファレンスセンター (AMRCRC) (JPN-98)**

- ・ WCCのTOR: **Prevention, Preparedness and Response to Antimicrobial Resistance**

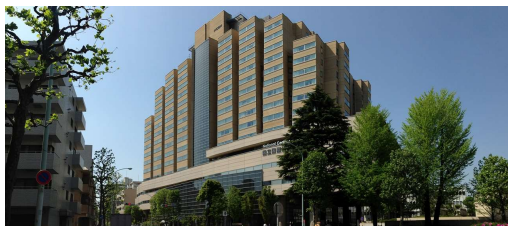
「COVID-19流行に伴う薬剤耐性(AMR)に関する研究、研修、アウトブレイク対応」

1) 事業の背景と目的

AMRCRCは2021年2月11日にWHOコラボレーションセンターとして認定されました。

薬剤耐性(AMR)に対して、その発生を予防すること、迅速な対応を開始し発生時の影響を最小限にすること、アウトブレイク対応の支援を関連機関と連携して行うことで、WHOの活動をサポートしています。

2019年12月末から中国・武漢市での感染拡大が報じられ始めた新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) のアウトブレイクに対して、AMRCRCは、COVID-19流行に伴う①薬剤耐性 (AMR)に関する研究、②研修、③アウトブレイク対応を、国内外の行政・研究・医療機関等と協力しながら行っています。



2) 事業の概要

①研究

< COVID-19レジストリJAPANの支援 >



2022年4月4日時点
研究参加施設：708施設
レジストリ登録症例数：63,426症例

<https://covid-registry.ncgm.go.jp/>

< COVID-19に関する数多くの論文を支援 >



<https://www.ncgm.go.jp/covid19/academicpaper.html>

②研修

< AMR臨床リファレンスセンターがWPROと協力し支援 >

厚労省主催、東京ワンヘルス会議（2022年2月17日）

- ・日本の抗微生物薬適正使用の手引きを西太平洋地域へ紹介
- ・日本での病院のAST体制を西太平洋地域へ紹介
- ・欧米/アジア諸国におけるワンヘルスを含めた抗微生物薬規制/アクセスのREVIEW実施を検討

③アウトブレイク対応

< 2021年12月から2022年3月まで、専門家2名をデータマネジメントとしてWPROに派遣 >

- ・WPROにおけるCOVID-19の疫学的状況について日報を作成し、の情報をWHO Health Emergency Team and Information and Planning Pillarに共有
- ・定期的な会議、議論、発表を通じて、日本での流行と公衆衛生対策に関する最新情報をWPOに共有



3) 今後の予定

今後も国内外の行政・研究・医療機関等と協力しながら、COVID-19流行に伴う①薬剤耐性（AMR）に関する研究、②研修、③アウトブレイク対応を行っています。